中　央　高　等　学　校　校　長　室　だ　よ　り　＜４＞

つれづれなるままに　第４号

平成30年７月10日（火）発行

校長　深谷　浩一

桜ノ牧を突き放す！

～先発高橋君の粘投光る！～

本校にとって今年の夏の高校野球県予選は，７月９日の対水戸桜ノ牧戦で開幕しました。球場は，今年から「ノーブルホーム水戸」と名前が変更になった水戸市民球場で，その第１試合でした。

試合の流れについて，本校の攻撃を中心にして，１回から順を追って振り返ってみます。

１回表を０点に抑えて，幸先の良いスタートを切った本校に，その裏，早速チャンスが巡ってきました。１番に入った高野君（３年）がセンターへの大きな当たりで３塁打を放つと，１アウト後に，３番野口君（３年）がレフト前ヒットで先制の１点をたたき出しました。

２回裏，先頭打者の石田君（３年）がレフト前ヒットで塁に出ると続くキャッチャーの平澤君（３年）がバントで２塁に送り，高草木君（３年）がレフトオーバーの３塁打で１点を追加しました。

３回に打順が一番に戻ると，高野君が今日２本目のセンターへのヒット。間髪を入れず２盗を決めると，続く小沼君（２年）は慎重に四球を選び，野口君がセーフティバントで満塁に。そこで４番松井君が本日初ヒットで１点追加。３回まで毎回得点で，３対１とリードしました。

ところが４回，５回と１点ずつ返されて，５回を終わって３対３の同点で折り返しました。先発高橋君は，６回まで投げ３点を失いましたが，粘りあるピッチングを披露し，７回からは，川名君（３点）にバトンをつなぎました。

７回裏の攻撃は圧巻でした。高草木君が内野安打で出塁すると，替わったばかりのピッチャー川名君が確実にバントで送りました。そこで今日２安打の高野君が，３本目のヒットで出塁し４点目を挙げると小沼君，野口君の連打。松井君がバッターボックスに入るやいなやパスボール。1点追加し，松井君もデッドボールで出塁し満塁とすると，続く磯君（３年）のレフトへの大きなヒットでさらに２点を追加したのです。７回が終わって，７対３と大量リードとなりました。８回に１点を失いましたが，川名君は安定したピッチングを続け，結局７対４で逃げ切ったのでした。

この試合を振り返ってみると，３安打の高野君や２安打の野口君などの活躍もありましたが，高橋君が６回を３点で抑えたことと，救援した川名君が７回以降を安定したピッチングで乗り切ったことが大きな勝因ではなかったかと思われます。

この一戦で本校は勢いづき，波に乗ってくることになります。（つづく）